

# 都市再生整備計画(第3回変更)

まきのはら地区

かごしま きりしまし  
鹿児島県 霧島市

平成23年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	鹿児島	市町村名	霧島市(きりしまし)	地区名	まきのほら	面積	385 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標

- 大目標:総合運動公園(そよかぜの里)に集い「誇りと愛着をもてるふるさとづくり」の拠点の創造
- 目標 1 安全で安心して快適に暮らせるまちづくり  
 目標 2 潤いといきがいをもって暮らせるまちづくり  
 目標 3 地域特産物を創造していくまちづくり

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■牧之原地区の位置付け

霧島市福山町牧之原地区は、国道10号、国道220号、県道比呂木野福山港線及び県道志布志福山線が縦横に交差しており、大隅半島と薩摩半島とを連絡する陸上交通の要衝となっているとともに、旧福山町内の人口約3割が集中している地区である。また、牧之原地区内の商店街を交差している町道は、歩道がなく幅員も狭いことから商店街の活性化の阻害要因として挙げられているほか、小・中・高校生の通学路としても利用されていることから整備の要望があげられている。

■総合運動公園の現況

牧之原総合運動公園は、旧福山町総合振興計画において『総合運動公園を核としたスポーツの盛んなまちづくりの推進』また、旧福山町都市計画マスタープランにおいては『総合運動公園を中心に、住んでいる人も、訪れる人も同時に楽しめる“観光・レクリエーション拠点”』として位置づけられている。現在、総合運動公園敷地内(32ha)には、農村の交流施設(活性化センター)、地域の特産品の販売所(ふくふくふれあい館)、地域の特産を活かした食堂(食の交流館 まきば茶屋)、スポーツ交流施設(パークゴルフ場)、全天候スポーツ施設(まきばドーム)、自然環境遊歩道(であいの森)が整備されており町内外及び九州地区の各種スポーツ大会やイベントが開催されている。また、福山市民プールは昭和28年に整備されているが、現在では施設の老朽化により使用困難な状況であり、市民の健康増進としての利用に支障をきたしている。

課題

○総合運動公園機能の拡充

まきのほら総合運動公園は、スポーツ少年団や中学校の各大会(サッカー・野球・テニス等)が年間多数開催されているが、多目的広場や園内駐車場・園内道路が未整備なため十分に活用されていない状況にある。また、既存施設の全天候スポーツ施設(まきばドーム)には更衣室がなく、パークゴルフ場においてもコースの増設が望まれているなど、総合運動公園利用者のニーズにあった施設機能の拡充が求められている。

○牧之原商店街の機能回復と総合運動公園の連携

牧之原商店街の空き店舗等を文化的賑わいのある地域コミュニティ振興の場(憩いの場)として活用を図り、かつ郊外型商業施設にない魅力を持った商業空間とするために日常最寄品の充実や高齢者等に配慮した道路空間等の整備が必要となっている。牧之原商店街と総合運動公園を結び、ウォーキングやロードコースとして多くの人が利用している周回コースは、国道・県道については歩道が整備されているが、市道は未整備であることから歩行空間の安全性を確保することが必要となっている。

○地域特性を活かした施策の推進

牧之原地区の地域振興を推進していくために、新たな時代潮流を的確に把握した上で、夏場も比較的冷涼な高原地帯の気候や緑豊かな自然に恵まれた環境等の地域特性を利用した、快適な生活環境の創出に資する施設整備を図っていく必要がある。

○福山市民プールの老朽化

福山市民プールは昭和28年に完成後、約半世紀に渡り市民(町民)に利用されてきたが、施設の老朽化により使用が困難な状況であり、支障をきたしている。このため、新設プールを整備することによる市民の健康増進の充実を図ることが必要となっている。また、地場産業である「福山黒酢」の工場見学・つぼ畑見学・民間施設黒酢情報館等への観光客も近年増加傾向であることから、総合運動公園と市民プールを一体的に整備することによる観光・レジャーの充実とともに、市民が潤いを持って健康増進が図れるように努める必要がある。

将来ビジョン(中長期)

旧福山町総合振興計画において“総合運動公園を核としたスポーツの盛んなまちづくりの推進”を掲げており、今後は「市民一人1スポーツ」の意識の定着を促進していくために特色あるスポーツ振興や総合運動公園を核とした自然体験型観光ゾーンの整備を促進していく必要がある。このようなことから、まきのほら地区のまちづくりの基本理念を“総合運動公園(そよかぜの里)に集い「誇りと愛着をもてるふるさとづくり」の拠点の創造”とする。

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
1. 総合運動公園内客数	人/年	総合運動公園内における各施設の総要りこみ客数(平成16年度各施設受付簿等の資料より)	総合運動公園や敷地内にある施設(活性化センター・ふくふくふれあい館・パークゴルフ場・まきばドーム等)の総入り込み数を測定することによって、施設整備の効果を測定することが出来る。	124,943	16年度	162,400	22年度
2. 牧之原中心街の通行人数	人/年	牧之原商店街の通行人数	牧之原バス停は、都城・大隅・鹿屋の乗換地点となっており、通学者や観光客の乗降客の商店街への来客により振興と活性化を図ることができる。また、商店街と総合運動公園を結ぶ道路は、ウォーキングやロードコースともなっており、国道への歩道設置や公園内や周辺の整備による牧之原中心商店街との一体化の効果を検証することができる。	221,188	16年度	243,300	22年度
3. 総合運動公園に対する満足度	%	既存の総合運動公園施設に対する満足度(アンケート集計より)	アンケート調査により総合運動公園に対する満足度を調査することによって、実施した事業の満足度を定量的に測定することができる。	38	16年度	60	22年度
4. 市民プールの利用者数	人/年	福山市民プール利用者の年間総数	福山市民プールの新設整備による年間利用者数の測定を行うことによって、市民の健康増進の充実の度合いを測定することができる。	0	17年度	8,000	22年度

## 都市再生整備計画の整備方針等

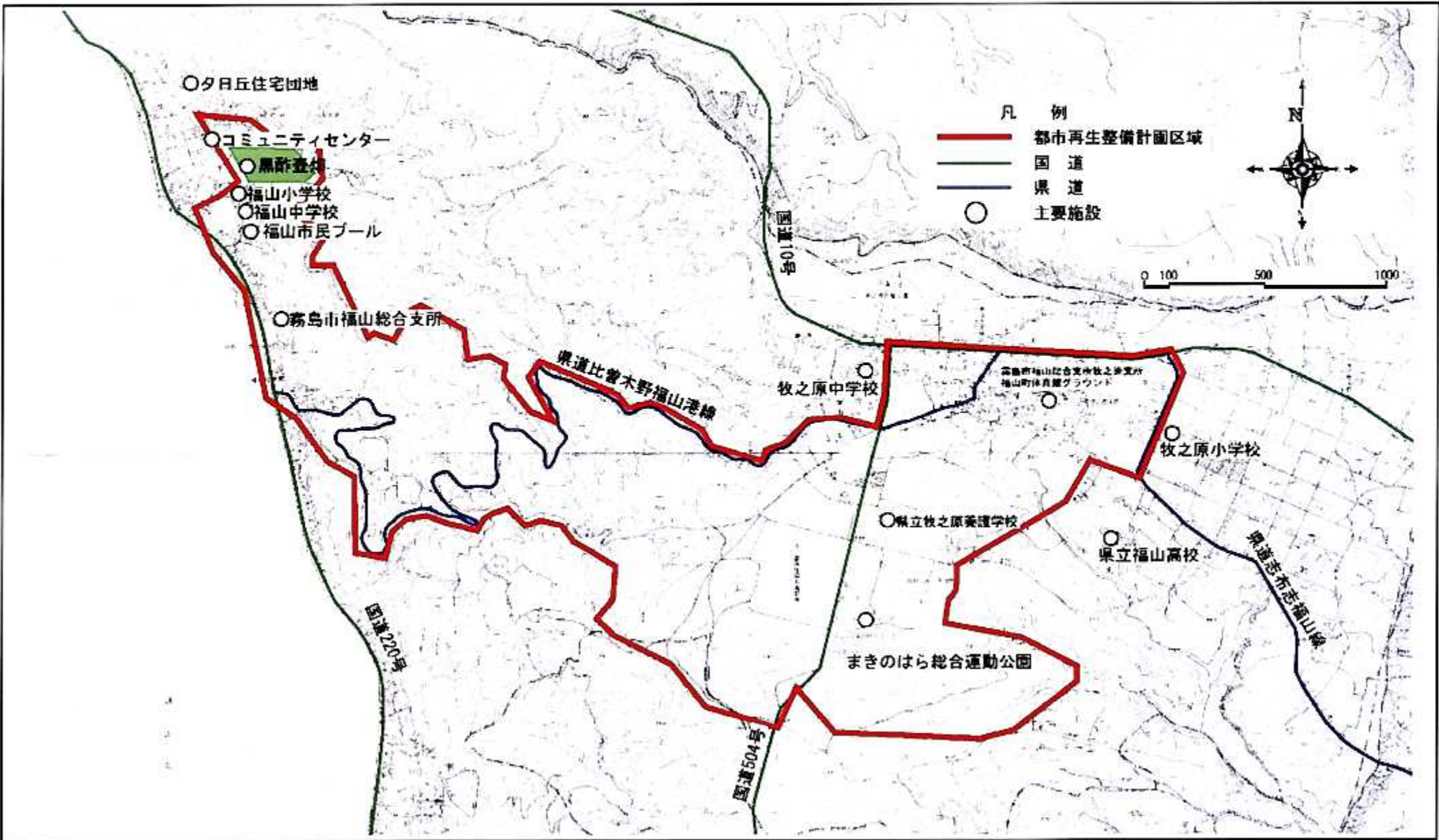
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・整備方針 1 (安全で安心して快適に暮らせるまちづくり)</p> <p>牧之原商店街の活性化と魅力を発揮するためには、歩道整備等の道路空間の再構築が必要である。また、商店街と総合運動公園を周回する道路は、健康増進を図るためにウォーキングやロードコースとして多くの人が利用していることから、歩道整備等による歩行者の安全確保も必要となっている。このようなことから、自然環境や景観と調和した魅力的な都市空間との一体化や安全で安心して暮らせる地域づくりを目指していくものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路 (基幹事業)</li> <li>・公園 (基幹事業 園路等の整備)</li> <li>・ウォーキング大会 (関連事業)</li> </ul>
<p>・整備方針 2 (潤いと生きがいをもって暮らせるまちづくり)</p> <p>本地区においては、高齢化が進行し地域社会全体で健康づくりを推進していくことが必要となっている。そのためにも、総合運動公園敷地内の既存施設については、地域住民や来客者のニーズに対応できるような施設の充実を図っていくとともに、子どもから高齢者まで利用できる施設整備や様々な人々との語らいや憩いの場となる多種の交流施設としての活用も図っていく必要がある。</p> <p>また、公園内には自然環境遊歩道(であいの森)が一部供用されているが、基幹道路との接合がないために園内歩道等の整備を図るとともに、施設間を連携させ多目的な機能を持つ施設の充実を図っていくものとする。</p> <p>さらには、市民プール施設整備について推進していくものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園 (基幹事業 多目的広場等)</li> <li>・市民プール整備・事後評価の実施 (提案事業)</li> </ul>
<p>・整備方針 3 (地域特産物を創造していくまちづくり)</p> <p>総合運動公園敷地内には、既存施設として農村の交流施設(活性化センター)、地域の特産品の販売所(ふくふくふれあい館)、スポーツ交流施設(パークゴルフ場)、全天候スポーツ施設(まきばドーム)、自然環境遊歩道(であいの森)が現在整備されている。また、地域の特産品の販売所(ふくふくふれあい館)、地域の特産を活かした食堂(食の交流館 まきば茶屋)が平成12年より運営を行っているところである。しかしながら、総合運動公園のPRが不足していることから、本計画においてパンフレットを作成し、来街者へのPRによる集客を図っていくものとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園 (基幹事業 緑化施設)</li> <li>・啓発・研修活動 (提案事業)</li> </ul>
<p>その他</p>	





都市再生整備計画の区域

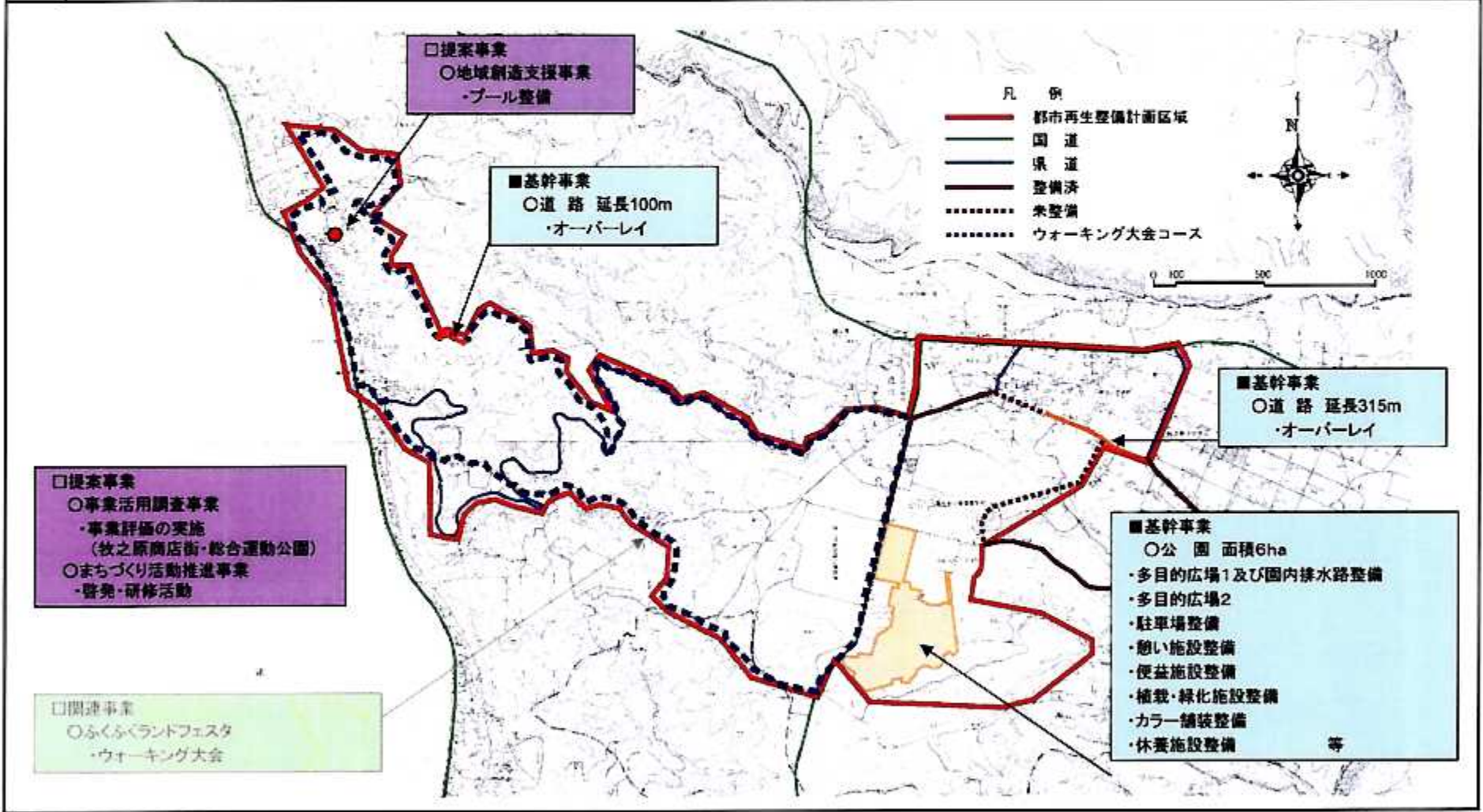
まきのはら地区(鹿児島県霧島市)	面積	385 ha	区域	霧島市福山町大字福山字山森・大塚前の一部
------------------	----	--------	----	----------------------





まきのほら地区(鹿児島県霧島市) 整備方針概要図

目標	総合運動公園(牧之原そよかぜの里)に集い「誇りと愛着をもてるふるさとづくり」の拠点の創造	代表的な指標	総合運動公園内来客数 (人/年)	124,943	(16年度)	—	162,400	(22年度)
			牧之原商店街通行人数 (人/年)	221,188	(17年度)	—	243,300	(22年度)
			総合運動公園に対する満足度 (%)	38	(16年度)	—	60	(22年度)
			市民プールの利用者 (人/年)	0	(17年度)	—	8,000	(22年度)



まきのはら地区(鹿児島県霧島市) 整備方針概要図(公園内イメージ図)

目標	総合運動公園(牧之原そよかぜの里)に集い「誇りと愛着をもてるふるさとづくり」の拠点の創造	代表的な指標	総合運動公園内来客数 (人/年)	124,943	(16年度)	→	162,400	(22年度)
			牧之原商店街通行人数 (人/年)	221,188	(17年度)	→	243,300	(22年度)
			総合運動公園に対する満足度 (%)	38	(16年度)	→	60	(22年度)
			市民プールの利用者数 人/年	0	(17年度)	→	8,000	(22年度)

- 基幹事業(変更)
- 公園面積 6ha
- ・多目的広場1及び園内排水路整備
  - ・多目的広場2
  - ・駐車場整備
  - ・憩い施設整備
  - ・便益施設整備
  - ・植栽・緑化施設整備
  - ・カラー舗装整備
  - ・休養施設整備
- 等

